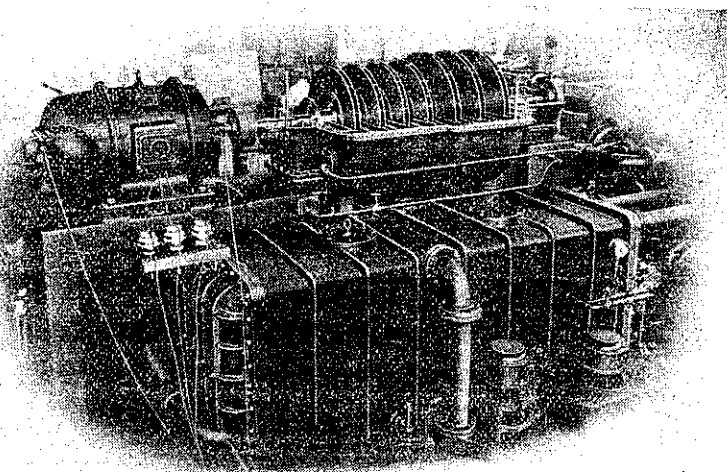


努力は遂に克てリ  
賞讃卒然として集中す  
外國品を凌駕する純國産  
夕~米冷凍機  
(特許出願中)



株式会社  
荏原製作所

東京府荏原郡南品川七五〇  
大阪堂ビル 京城青葉町



# 播磨鐵骨

- 營業種目**
- 一 土木工事
  - 一 水壓鐵管、鐵柱
  - 一 油槽、瓦斯槽
  - 一 橋梁、鐵骨建築
  - 一 諸機械汽罐
  - 一 船舶新造、修繕

## 株式會社 播磨造船所

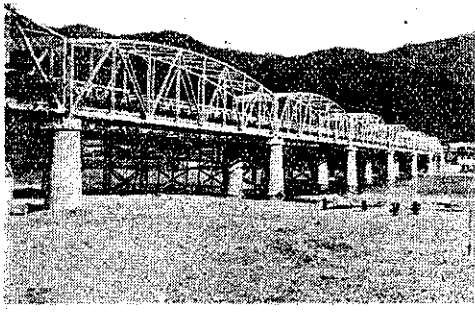
兵庫縣赤穂郡相生町

電話相生 一四・一五・一六・二二

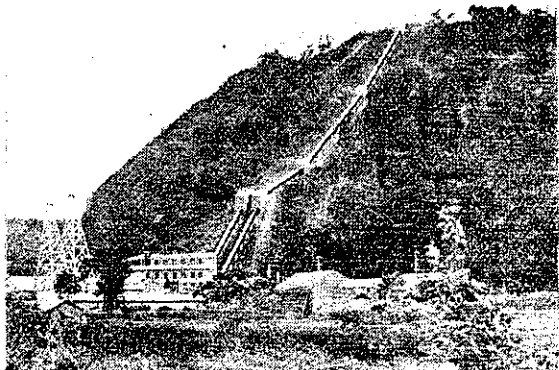
神戸事務所 神戸市仲町三六興銀ビルディング 電話三宮三四五〇

東京事務所 東京市麹町區丸ノ内東京海上ビルディング 電話丸ノ内二七七

九州送電株式會社耳川發電所水壓鐵管 昭和三年竣工



高知縣仁淀川橋 昭和五年竣工



北海道帝國  
大學教授

工學博士

鷹部屋福平監修

(內容見  
本進呈)

# 世界橋梁寫真設計圖說

最新刊

洋布上製  
四六倍版

木版八度刷一枚・原色版四枚  
寫真版百十餘箇・凸版百廿餘

定價金拾貳圓五十錢

送料金四十五錢

## 尖銳科學文明の所産たる橋梁美の集大成

本書は監修者鷹部屋博士が多年輯集したる貴重なる研究資料の中より、特に専門學術に立脚して、意義深きもの、興味あるもの、あるものを、古今東西を通じてびて、系統的に配列し、懇切なオース橋清洲橋以下掲出諸橋はじ精密なる設計圖凸版總數二百ゴツホ・非水等當代巨匠の筆に刷・原色版・寫真版等を用ひて橋梁・環境と橋梁・生活と橋梁解説はすべて博士の筆に成り最も意を用ひたる所にして、それが學術的に如何に價值多きものなるかは 暇々贅説を須たない所であるが、一方又博士は獨自の審美的立場より、近代の尖銳科學文明の所産たる新設橋梁に直面して、興味深き論評を試みた。橋梁に關係ある諸賢の必ず座右に備へねばならぬ好參考資料である。

### 特色

斯界の權威者の監修になつた資料を世界的歴史的に求めた系統的に分類し配列せられた權威ある解説が施されてゐる従つて單なる寫真集ではない

代表的なるもの、歴史的に價值廣く之を求め、百八十餘橋を選る解説を加へたものである。フ皆精巧なる寫真版及び必要に應二十餘箇を用ひ、北齋・廣重・なる諸橋は、それぞれ木版八度橋梁美を忠實に表現し、時代との密接なる關係を如實に傳へた。

北海道帝國  
大學教授

工學博士

小川敬次郎著

(洋布四六倍版  
三百八十餘頁)

定價金六圓五十錢

送料金四十五錢

## 混凝土及鐵筋混凝土理論應用

エンジニア誌長江主幹評——今此の混凝土鐵筋混凝土設計虎の巻を得られたことは天下の設計家にとつて此の上ない幸だと思ふ。博士はその序に「諸君の參考書として用立たしむることを目的としたのであつて従つて大多數の諸君の了解に便なるやう順序よく平易に記述したつもりである」と云つてゐるが、私から見れば全くその通り、實に都合よく書けてゐる。先づ構造物の安定論、横張力や力の基本論から始めて基礎工、基礎々段を説き、上部構造に入つては堰、槽、橋、架橋、倉、建築構造に及び、尙擁壁、管、煙突、電柱等に迄及んで、混凝土及鐵筋混凝土で出来るものは總て網羅して計算法、設計法、實例までが擧げられてゐるのだから調法だ。(以下略)

發行所

東京市牛込區下宮比町十五番地  
振替東京一七五一二番・電話牛込五七〇七番

正興館

# 業負請築建木土



## 株式會社 大 林 組

本 店	大阪市東區京橋三丁目七十五番地 電話東 (94) 自 國八六〇番 自 五四〇四番 自 六四七一番 至 國八六五番 至 國五四〇九番 至 六四七三番
東京支店	東京市麴町區丸ノ内一丁目二番地 電話丸ノ内 (23) 自 國三四二一 至 三四二七番
橫濱支店	橫濱市中區相生町三丁目五十二番地 電話長者町 (3) 自 國三三三三 至 國三三三九番
名古屋支店	名古屋市中區新柳町六丁目三番地 電話本局 (2) 自 國一〇二五番 一八五八番 至 國一〇二六番
福岡支店	福岡市中島町五十九番地 電話福岡 自 國一四一九番 國四七六三番 京都市中區堺町通御池下ル丸木材木町 六百七十五番地
京都營業所	電話本局 (2) 自 國三三六番 三三七番
神戸營業所	神戸市海岸通十二番地 電話三宮 (3) 自 國八二九番 三一〇七番
金澤營業所	金澤市下堤町六十一番地 電話 自 國二四七四番
工 作 所	大阪市港區千島町六番地 電話櫻川 (64) 自 國七六〇番 二六九七番 至 國七六三番
工作所東京工場	東京市深川區鹽崎町一號埋立地 電話本所 (73) 自 國二二五六番 國二一六八番 至 國二二六七番

土木建築  
請負業

合資  
會社

錢

高

組

東京

東京市京橋區木挽町四丁目四番地

電話銀座

三三三  
三八八  
四八八  
八二一〇  
番番番番

大阪

大阪市西區土佐堀通三丁目廿四番地

代表社員 錢高作太郎  
工學士 錢高久吉  
代表社員 錢高久吉

電話土佐堀  
三三三  
四四一  
八七番

# 業 負 請 築 建 木 土

## 資 資 會 合 間 組

本 店

東京市赤坂區青山北町三ノ一七

電話 青山一六九〇六四番

建 築 部

東京市丸ノ内二丁目丸ビル八階

電話 丸ノ内四七三二番

大阪出張所

大阪市北區伊勢町九

電話 北二八〇〇番

名古屋出張所

名古屋市中區仲ノ町三ノ二五

電話 本局一六六九番

下 關 支 店

下關市新町一ノ一二五七

電話 下關三八五番

朝 鮮 支 店

京城府龍山漢江通一一

電話 龍山七四七四番

(建築部專用) 一〇七五番

# 菱印 窓硝子

**A** 和洋高級建築用として  
お勤めのお部屋用品

**B** 一般窓用として最も  
廣く使はれる窓硝子用品

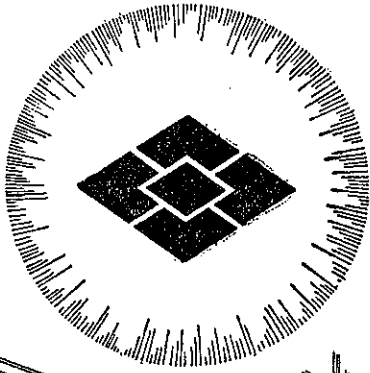
**C** 工場倉庫用として  
適当な価格安用品

並厚……………3 耗……………

4 耗……………5 耗……………

等各種厚味ノ

透・摺・結霜等



旭硝子株式会社

株式會社

# 橫河橋梁製作所

## 營業科目

鋼橋桁鐵塔  
 鐵骨家屋鐵管  
 ポイントクロッシング  
 其他附帶業務

本社

東京市芝區月見町一丁目七番地

電話高輪二七六六番

東京工場

東京市芝區月見町一丁目七番地

電話高輪九七〇七六六番

大阪工場

大阪市港區南境川町三丁目三〇番地

電話西三三三〇番

三三五五八八四三番